

さん 陽光とかがやく みらいっ子

☎ 教育委員会 学務課 ☎ (232) 4918



自宅で絵本が好きな息子の絃さんに読みきかせをする吉村さん夫婦

地域コミュニティの弱体化や核家族化の進行など社会の状況がさまざまに変化し、現代における子どもたちを取り巻く環境は、多様化・複雑化してきています。その上、今の子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、少子化の進行や情報化・グローバル化の進展などが急速に変化しており、予測が困難な時代になるといわれています。

そのような中、虐待や育児放棄など痛ましい事件や事故が報道されています。令和2年度全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数は20万5千44件で、令和元年度よりも5・8%増加し過去最多となっています。

事件に心を痛め何かできることはないかと案じている人も多いと思います。子どもをどう育てていけばよいのか悩んでいる保護者や、地域の皆さんで、未来を担う子どもたちをどのように育てていけばよいのでしょうか。

豊肥本線(三里木・原水駅間)への新駅設置をJR九州に要望

2月24日に九州旅客鉄道株式会社(JR九州)本社にて、福永取締役常務執行役員鉄道事業本部長に要望書を手渡す後藤町長



☎ 総合政策課 地域振興係 ☎ (232) 2112

～新駅の構想実現に向けて～

町では、“駅を中心としたまちづくり”を進めるため、第6期菊陽町総合計画や菊陽町都市計画マスタープランなどの主要な計画に、JR豊肥本線の三里木駅と原水駅間の図書館付近に新駅を設置し、周辺の市街地整備を進める構想を掲げています。

以前(平成11年)にも、JR九州に新駅設置を要望しましたが、当時は十分な利用者数が見込めないとして実現には至らず、町では構想の検討と要望を継続することとしていました。

今般、新駅設置を想定している周辺地域が目覚ましく発展していることや、TSMCなどによる新工場の進出という情勢の変化を捉え、2月24日に改めてJR九州に新駅設置を強く要望いたしました。



新駅の設置場所の考え方

図書館付近を想定しています。菊陽町は東西に線路が走っているため、ハンズマンと図書館の間の^{こせんきょう}跨線橋を利用することで、南北両側から行き来できます。

線路南側は、菊陽第二土地区画整理事業により、高層マンションや大型商業施設の立地が相次ぎ、定住人口が大幅に増加しています。

北側には、図書館・ホール、さんさん公園、さんふれあに加え、総合体育館も建設中のため、交流人口が多いエリアとなっています。

～新駅の効果と今後の展望～

新駅が実現すれば、通学、通勤、ショッピング、公共施設の利用など、町民の皆さんや町外から訪れる人たちの利便性が向上し、定住人口や交流人口の増加につながることが期待されます。併せて、まちの賑わいづくりや地域経済の発展にもつながるものと考えています。

今回の要望に対して、JR九州は「新駅設置の可否について菊陽町と一緒に検討してまいりたい」と答えており、これから駅の設置場所や機能、利用見込などを検討・協議していく予定です。一日も早く新駅の設置を実現できるよう、しっかりと取組みを進めていきます。

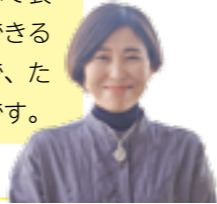
小・中学校や保育所に通う子どもがいる世帯に

4月中に「みらいっ子マップ」を配布

草場ルミ子さんが中心となり、菊陽町幼保小中連携推進協議会の中で「陽光とかがやくみらいっ子マップ」を作成。町の子育ての方針として今後活用していく予定です。また、次ページ見開きにも掲載しています。

Interview みらいっ子マップのイラストを担当

自分の子育てを終えたあとだったので、内容にピンとききました。このマップは子どもの成長を大きな木で表しています。親の木だけでは子どもは育てられません。学校や地域などの多くの木があってこそ、挑戦できる子どもたちが育つということを表したかったんです。この絵すべてをやりきろうとしなくてもいいので、たまにこのマップを見て「このような目標がわが子に必要なんだ！」と気が付くきっかけになると嬉しいです。



うちだ さなえ
内田 早苗さん(緑ヶ丘)

ふれあいの森研修センターで社会教育指導員として働く内田さん。その傍らで絵の教室などを自宅で行っています。この経験を買われて今回マップを描きました。

町の子育てみんなの声

Voice1 現役子育て世帯

よしむら なおと
吉村 直人さん、かりんさんご夫妻と
息子の紘さん(光7町内)



子育てのために、実家近くの菊陽町に移り住みました。マンションに住んでいますが、近隣の人から野菜をもらうなど優しい人の多い町だと感じています。近くに公園があって、休みの日には子どもを遊ばせることもできてありがたいです。

初めての子育てで何が正解かどうするのがいいのかよく悩んでいました。この「みらいっ子マップ」は悩んだときの指標にもなるし、0~15才までのすべての世代が一つにまとまっているので子育てのイメージが広がるきっかけにもなります。

息子が人と協力し、さまざまな困難を乗り越えていける人になれるよう子育てを楽しんでいきたいです。

Voice2 孫見守り世帯

みつよし きょうこ
光吉 教子さん
(緑陽台)



一目見てさまざまなことがよくわかるものだと思います。手描きゆえの絵本のようなテイストが目を引きまします。遊びに来た孫もこのマップを見て興味を示していました。マップの中央部分のピンク色のハートの中にある

「かけがえのない命」「相手はどんな表情かな」などの言葉は大人も忘れてはいけぬ大切な言葉です。私たちの世代だと、このようなことがあったなと自らの子育てを振り返るきっかけになりました。今後は孫との関わりの中で生かしていきたいです。現在、思いもよらない世情で不安になることもあります。孫には私たち大人の不安が伝わらないように笑顔で接しています。子どもの未来が輝くよう笑顔で、子育てに参加していきたいですね。

Interview

菊陽町の全ての子どもが愛情で満ちた、健康で豊かな生活の基盤を築きつ、自分の夢に向かって挑戦しつづけたい



くさば
草場 ルミ子さん

35年間小学校教員として教育の現場に携わり、令和3年3月まで菊陽西小学校の校長を務め、退職。令和3年4月からは町教育委員会で教育支援アドバイザーとして小学校への教科担任制の導入、若手教員の指導に携わりながら、子どもたちの成長を見守っている。

成長の連続性

子どもの成長は乳児期・幼児期・小学生期・中学生期と大きな枠組でとらえられます。しかし、義務教育の終わりの15歳を子どもの育ちのゴールとするならば、0~15歳まで子どもの育ちは連続するものです。例えば、小中学生で、「自分の感情コントロールがうまくできず、物や人にあたってしまう」「友達とのコミュニケーションがうまくいかない」など対人関係で困っている子どもは、乳幼児期に身近な大人との信頼関係が作れなかったり、五感を使ったさまざまな体験が不足していたり、遊びの中で、相手の気持ちを察したりルールを守ったりする経験をしていないなどの要因があるとも考えられます。

子どもに関わる人が同じ目線で

子どもを育てる組織はそれぞれ独立しています。また家庭、学校、地域などそれぞれで子どもたちにとって必要な環境の中こそ、自分たちの育ちに必要なものも違います。家庭、幼稚園、保育園や学校、地域は車輪のように、同じ方向を向いて子どもたちを育てていかなければ、子どもたちは、笑顔で過ごすことはできません。

「小学校入学までにつけたい力」「中学校入学までにつけたい力」を目安に、幼稚園、保育園、学校、家庭、地域が同じ目線で子どもたちを育てる必要があります。

これを実現するために菊陽町の全ての子どもに必要なることをわかりやすく示し、子育てや保育・教育の参考になるように「陽光とかがやくみらいっ子マップ」を作成しました。

また、「学校へ行く」「勉強する」などの当たり前と言われることも、「食事をする」「ぐっすり眠る」という家庭での基盤があってこそできることです。心と体が健康で、毎日、安心して過ごせる環境の中でこそ、自分の夢に向かって挑戦しつづける力が培われていくのです。

幼保小中連携推進協議会とは？

就学前教育の充実や幼保小中のなめらかな接続を目的に幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を進める組織です。菊陽町では各小中学校や町内の認定こども園、幼稚園、保育所などが参加しています。

今回のマップ作成では、町立保育所の保育士や学校の先生などがそれぞれの分野で協力して作成しました。

やくみらいっ子マップ15歳までにつけたい力」を菊陽町幼保小中連携推進協議会で作成しました。家庭、幼稚園、保育園、学校、地域で、子どもたちに関わるときに、「この年齢だとどんなことをするのか」と迷ったときの一つの指標としていただきたいと考えています。

菊陽町の子育てサポート

登下校の見守り

地域住民が登下校時の児童を見守っています。



4月から18歳以下の子どもの医療費が無料！



詳しくはこちら

自校給食！

各学校の給食室で給食調理員が手作りする給食！お昼が近くなると、いいにおいがしてワクワクします。毎月19日前後は、菊陽町産の野菜を使った献立が登場するキャロットピーデーも！



目標にむかえる 挑戦しようがえる力

家庭学習 English

① 2時間以上/日
進路にむかえて

② 90分/日
課題解決にむかえて
目的に応じて計画的に

③ 80分/日
時間別・テーマ別
しよう

英検 3級を
目指そう

英検 4級を
目指そう

英検 5級を
目指そう

ICT

能力
ICT
活用

自己の権利
責任を
果たす
活用しよう

10分/週
10分/週
300文字

中学校入までにつなぐ力

学習規律
身に付けている
時間を守る
課題を早く
終わらせる
自分から進んで

基礎的な生活
自分の力だけで
工夫・時間を
有効に使う

90分/日
10分/週
200文字

英語 ジュニア
Hello!! 9月
わかる
書く

小学校入までにつなぐ力

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生

自分と大切に
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり

交通安全
自転車
歩行者

生活リズムに
つなごう

達成感
自信
健康
継続
感謝
感謝
感謝

健康が一番
病気の治療
早めには
医療費
負担が少なくて
18歳まで
無料です

楽しく
体を動かそう
生活習慣
生活習慣

家族で一緒に!
早起き
早寝
家族で一緒に!
早起き
早寝

11月19日
菊陽町の
食祭日

19日前後
19日前後
19日前後

家族で一緒に!
早起き
早寝
家族で一緒に!
早起き
早寝

自分と大切に
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり
おしゃべり

健康
健康
健康
健康
健康

達成感
自信
健康
継続
感謝
感謝
感謝

健康が一番
病気の治療
早めには
医療費
負担が少なくて
18歳まで
無料です

楽しく
体を動かそう
生活習慣
生活習慣

家族で一緒に!
早起き
早寝
家族で一緒に!
早起き
早寝

陽光とかがやく みらいのこころ

～15才までにつけた力～

菊陽町教育委員会
菊陽町幼保小中連携推進協議会 2022.4

対象者	条件	補助金額
①住宅を新築または新規購入する人	住宅の新築・購入	100万円
	中古住宅を購入	50万円
②リフォーム等を行った住宅に転入や転居する人	リフォーム住宅に転入(転居)	リフォームなどの費用の2分の1以内(上限50万円)
③①、②以外の転入や転居する人	①、②以外の転入(転居)	小学生以下の扶養親族一人当たり10万円
	④対象地区内の人が出産した出生児の養育者	出生児1人当たり10万円 (①、②の交付決定時妊娠していた子の出生は出生児1人当たり20万円)

※①②の対象者で小学生以下の扶養親族がいる場合、1人当たり20万円の加算金があります。

※既に居住している住宅の建替えやリフォームは対象外です。

■対象要件(抜粋)

- ・対象地区内に3年以上居住すること
- ・小学生以下の扶養親族や妊娠中の親族と同居することなど

■期間 令和6年3月末日まで
 ■対象地区 菊陽南小学校区(井口、辛川、道明、曲手、馬場楠、戸次)、辛川、道明、曲手、馬場楠、戸次)
 ※詳しくは、お問い合わせください。
 ■申請方法 住宅を新築(購入)した日または転入(転居)した日などから6カ月以内に必要書類を提出してください。

菊陽南小学校区(井口、辛川、道明、曲手、馬場楠、戸次)の活性化を促進するため、対象地区内に定住する子育て世帯に対して、住宅の新築・購入、リフォームなどや転入・転居、出生児の養育に関する費用の一部を補助します。

都市計画課 都市計画係 ☎(232)4927

菊陽町定住促進補助金制度をご利用ください



危険なブロック塀などの撤去

危険ブロック塀等安全確保支援事業補助金

地震発生時の人身事故防止や避難経路の確保を目的に、危険なブロック塀などを撤去する費用の補助を行います。



■対象事業費

以下の要件をすべて満たすブロック塀の撤去に要する費用(ブロック塀には、レンガ塀や看板などの工作物も含む)

- ・通学路などに面している
- ・道路面からの高さが80センチ以上
- ・ブロック塀自体の高さが60センチ以上
- ・ヒビ、ぐらつき、傾きがあるなど、危険な状態である

※町が現地調査を行い、要件を満たすか判断します。まずは電話でご相談ください。

■補助金額

10分の10(上限20万円かつ1.2万円/延)

■申請期限 11月30日(水)

生垣等設置奨励補助金

ブロック塀などを撤去した土地には、生垣の設置を推奨しており、補助制度があります。

■対象事業費

以下の要件を満たす生垣の設置に要する費用

- ・植栽場所が公衆用道路に面している
- ・植栽場所の長さが5メートル以上
- ・外部から眺望できる高さが70センチ以上
- ・植栽間隔が1メートル当たり2本以上

■補助金額 3分の1以内(上限5万円)

■申し込み・問い合わせ

都市計画課 都市計画係 ☎(232)4927

どんな子育てができる町になってほしい?



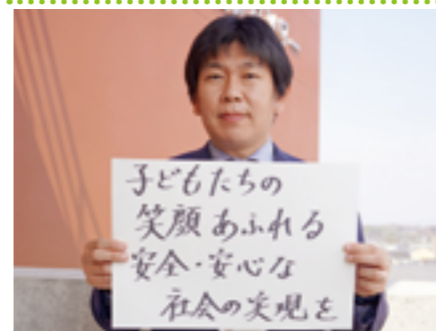
なかよし園保育士 坂上 ふじ美さん



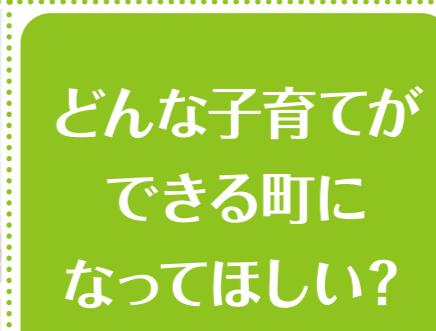
あんよ保育園園長 窪田 絹代さんと孫の翔さん



菊陽中部小学校教員 上田 奈緒子さん



菊陽町教育委員会 上田 恭裕さん



子育て支援課 早田 健太郎さん



菊陽北小学校教員 木村 果鈴さん



みどり園保育士 岩根 佳菜子さん



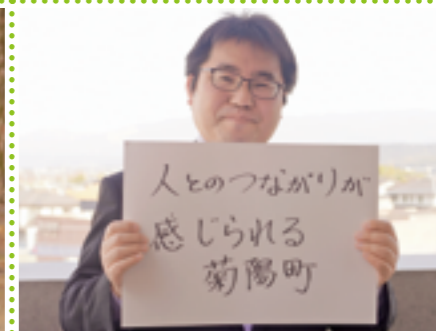
孫の保育園のお迎え担当 財満 若菜さん



西小児童の登下校の見守りを行う 上瀧 泰二さん



2児のパパ 前田 晃志さん



武蔵ヶ丘小学校教員 西村 幸洋さん

これからも一人一人が輝き続ける未来のために
 子どもたちが「目標に向かって挑戦しつづける力」を得るためには、さまざまな保育・教育機関、家庭、地域が一体となって育てていく必要があります。
 今回、このマップを広報きくように掲載しているのは「子育て世帯ではない皆さんにも町の子どもたちをこのような過程で育てているということを知ってもらい、地域で見守ることへのきっかけにしてほしい」「まだ保育園や幼稚園に通っていない乳幼児を育てている人へ一つのみちしるべとして届けたい」という思いを伝えたかったからです。
 上の写真に出演した人は町で子育てをしている人や今回のマップ作成に携わった皆さんです。子育て世帯の力となる人がたくさんいます。子育ての中で道に迷ってしまいそうなどときはこのマップを活用してみませんか。困り事がある人は、ぜひ周りの人々に頼ってみてください。
 おわり